



# JA新しいわての自己改革

## もっと知ろう、JAの取り組み

JA新しいわての「農家所得の増大」や「地域の活性化」に向けた取り組みを紹介。今月は「肉豚の流通・販売」について紹介します。

### 流通から販売について

肉豚の販売については種豚場の出荷を除き、すべてJA全農いわて経由で株式会社いわちくへ出荷・販売を行っています。いわちくへ出荷された肉豚は右記の店舗などへ販売され、銘柄豚や岩手県産豚肉として消費者に届けられています。JA新しいわての生産者から出荷された豚肉は右記の銘柄で販売されております。

販売先	銘柄	主な生産エリア
オオゼキ(東京)	岩手純情豚	東部・久慈
マイヤ(県内)	熟成豚	東部・久慈
マルイチ	南部福来豚	久慈
よこまち(八戸)	南部ピュアポーク	久慈
ベルセンター(県内)	南部ロイヤル	久慈
川徳、フェザン(県内)	いわて純情豚愛海	久慈
直売所(八戸)、ナックス	八幡平ポークあい	久慈
生協ユーコープ	茶美豚	宮古
尾半	産直豚	宮古



### 販売実績について

販売実績については、農家戸数の減少や天候による出荷頭数の減少はありましたが、生産規模の拡大や多産系の種雌豚の導入などにより、出荷頭数は上昇傾向にあります。

	H25	H26	H27	H28	H29
販売頭数	136,772	129,603	123,595	132,745	130,739
販売額(千円)	4,486,997	4,990,585	4,448,587	4,591,481	4,919,767

### JA新しいわての取り組み

JAでは毎年、養豚事業検討会を開き、生産者相互の情報共有に努めています。また、豚は病気に弱く、蔓延すると出荷頭数の大幅な減少につながるため、疾病が県内に侵入した際には、衛生対策として資材を配布し、防疫の徹底に努めています。

#### 生産者の声



株式会社のだファーム 代表取締役 ひらや としあき 平谷 東英さん

岩手県内の養豚生産は、養豚振興会での情報交換の場もあり全国的に品質・管理ともレベルは高いです。JA管内で生産される肉豚は販売店ごとのブランドで販売され、ブランドごとにエサを変えるなどの工夫もしています。顔の見える販売を心がけ販売店での販促などにも参加し、管内のブランド豚の認知度の向上に努めています。